



# 空き家改修のモデル化計画

## ● 若狭町の空き家の件数と現状

約300件（若狭町28年度）

（年々増加傾向にあるが、相続、家主の条件などにより利用がスムーズに進まないのが現状）

## ● 若狭町の空き家対策

1. 空き家バンクの登録（情報公開） 2. 空き家の再利用の推進

3. 危険空き家の撤去 4. 空き家改修への補助金制度

空き家を改修した場合、改修費の50%（上限100万円）を補助。  
上下水道の加入権（99.5万円）を貸与。

## ● 空き家の問題点

1. 倒壊 2. 崩壊 3. 屋根外壁の落下 4. 火災の恐れ
5. ごみの不法投棄 6. 悪臭、景観、衛生の悪化など



## ● 空き家の活用法

1. 賃貸物件 2. シェアハウス 2. 店舗利用 4. コミュニティスペース
5. 移住者の体験住宅 6. 会員制民宿 7. 文化施設への提供
8. 福祉医療分野に提供など

## ● 西野工務店の進める空き家改修のモデル化

（学びの場と再利用・廃棄物ゼロを目指して）

現状は年々増加する空き家です。空き家の再利用と共に、危険空き家の撤去が今後、活発になると考えられます。

現在継続している JICA 草の根事業に於いて若狭町・福井大学・NPO・西野工務店が連携し、空き家改修モデルを小原に完成を目指し、福祉シェアハウスとして活用を進めています。

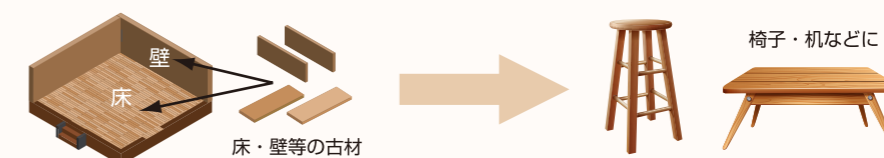
更に、古材の再利用、ラオス研修生の学び、安価で改修費を実現出来る事を基本にし、新しい空間造りで空き家の再利用を提案して行きます。



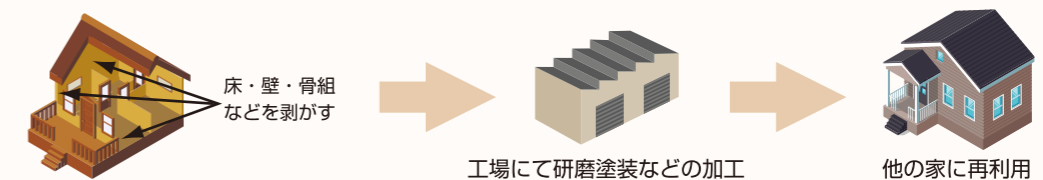
### 1. 3つの古材の再利用法（古材のリユース・リレー）

イ）再度加工し現状での復元利用（その家にあった材を加工し、その家で利用）

ロ）床や壁等の別利用（椅子・机などに利用し、新に生まれ変わる）



二）他物件材での改修利用（解体された古材を加工し、空き家の改修に利用）



### 2. 改修の低価格と利益、育成の活用法

イ）古材の再利用で、材の軽減（他の解体撤去物件からの材の確保）

ロ）古材での商品化販売（自社工場での生産）

ハ）ラオス研修生の学び（技術の育成に繋げる）

## ● 現在進める自社生産の商品化

### 1. 新フレーム商品

（耐震、強度に優れた接合金物を利用したフレームを製品化。認可を得て商品化に）

### 2. パネル商品

（床フローアー、壁、天井、ボード+クロスなどユニット化したパネル商品の生産）

※自社工場、ラオス研修生の活用での低価格化